

授業科目(ナンバリング)	ホスピタリティ概論 (AA103)			担当教員	安部直樹・安東由喜雄・木村勝彦 橋本建夫・高橋憲司・陳慶光・東出 朋 ヴィラーグ ヴィクトル・中村尚生 小田和人・藤井俊輔・藤原俊幸 藤木 司・田中啓太郎		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
<p>本学は、「人間尊重」を基本理念に、「ホスピタリティの探求、実現」を教育・研究の基礎とし、ホスピタリティを構成する能力を身につけ活用できることが、学位授与の方針となっている。本講座は、本学でのあらゆる学びの基本となるホスピタリティの意味を理解し、実践的に体現していくことができるようになることをねらいとする。本年度は新型コロナウイルス感染防止のためにオンライン授業で行う。</p>							②⑥ ⑩⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	ホスピタリティの具体的なあり方を自らの専攻分野に関連づけて説明することができる。				manaba アンケート	25%	
情報収集、分析力	ホスピタリティの基本的な精神とそのさまざまな表現について情報を収集し、分析することができる。				manaba アンケート	15%	
コミュニケーション力	ホスピタリティの精神を社会生活の中で実践し円滑な人間関係を築くために、担当教員と積極的なコミュニケーションを図ることができる。				manaba アンケート及び質問等	15%	
協働・課題解決力	与えられた課題を自らのものとして捉え、解決を試みることができる。				manaba アンケート	15%	
多様性理解力	留学生等の意見を聞き、自己の育ちとの違いを認識するとともに、多くの価値観を認め、協力できる。				manaba アンケート	30%	
出席					manaba アンケートの提出での確認		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業中の参加態度、発表など、授業での積極性、協調性、主体性、などを manaba アンケートの項目への回答で評価する。この manaba アンケートには授業の概要を聞く項目もあり、それによって、理解度も確認する。各受講生から提出されたアンケートには、各担当教員がコメントをつけ、授業への参加を常に促す。最終回のアンケートには、授業を振り返り、自己の将来と絡めての課題もあり、それらを総合的に評価する。アンケートでの質問には毎回真摯に応え、コメントも行う。</p>							
授業の概要							
<p>本授業は、テーマ、内容に応じて、理事長、学長、副学長をはじめとする本学教員および社会で活躍する本学の卒業生ならびに外部講師の講義により、本学の学びの核となる“ホスピタリティ”の多面的な理解を目指す。ただ、本年度は、オンライン授業となるため、上述の講話については、録画をして時間割で指定された時間に放映するとともに、you tubeでのオンデマンド形式にも対応する。受講者は録画を視聴し、manaba で配信されるアンケートの項目に答え、それを返信することによって授業への参加を証明していく。このアンケートに対して、12名の担当教員が分担をして目を通し、適切なコメントをつけて、受講者の受講への意欲を喚起する。また、本来は、学科混成のクラスを編成するが、オンライン授業を前提に学科別にクラスを編成する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない 参考書：適宜指示する 指定図書：「本物の大人論」外山滋比古(著) 海竜社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							

- ・留学生や教職員の話を聞き、自分と異なることへの受容性を高め、幅広い視野を養うこと。
- ・先輩の職場での話を聞くことによって、自分自身のホスピタリティに基づく行動が全体に与えるプラスの影響について考える習慣を身につけること。
- ・授業で学んだことを直ちに実践してみること。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	オンライン授業の説明、担当教員の紹介、manabaでの授業の指示、やアンケートの回答方法について説明を行うとともに、評価方法等の説明も行う。	シラバスを読んでおく
2	長崎国際大学が育成する学士像（学長）	大学の役割を説明するとともに、学生一人一人が将来像を描けるように、長崎国際大学が育てる人物像をディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーを活用して具体的に述べる。さらに、安心して学修に励むことができるような体制を、教員や職員が一体となって構築していることを紹介し、主体的な学修への一歩を促す。	(予) ディプロマ・ポリシーを見ておく (復) アンケートを提出
3	プレゼンテーションの重要性（外部講師）	限られた時間の中で、情報や主張を自分の言葉で聴衆に伝えることを目的とするプレゼンテーションの重要性について専門家から学ぶ。	(予) プレゼンテーションの意味を調べておく (復) アンケートを提出
4	ホスピタリティの起源と文化（木村副学長）	世界史および日本史におけるホスピタリティの起源と変遷を理解し、現代社会の課題を明らかにする。	(予) ホスピタリティの意味を調べておく (復) アンケートを提出
5	国際化とホスピタリティ	国際交流・留学生支援室の劉さんが、留学生の実状と留学先での葛藤などを紹介するとともに、異文化の理解の重要性を説く。	(予) 国際交流について考える。 (復) アンケートを提出する。
6	1年制への期待	安部理事長が、九州文化学園創立の経緯やその発展の歴史を紹介する。次いで、地域の大学として開設された本学の理念である「人間尊重」や「ホスピタリティ」を茶道を例にして具体的に述べ、自校愛の芽生えを図る。	(予) 九州文化学園のホームページを見ておく (復) アンケートを提出する
7	教職員のキャリアとホスピタリティ（1）	教職員のA班（8名）が自身のキャリアを紹介するとともに、職場でのホスピタリティの重要性を説く。	(予) 自己のキャリアを考える (復) アンケートの提出
8	教職員のキャリアとホスピタリティ（2）	教職員のB班（8名）が自身のキャリアを紹介するとともに、職場でのホスピタリティの重要性を説く。	(予) 自己のキャリアを考える (復) アンケートの提出
9	本学の主要なセンターの紹介	キャンパスライフに欠かせないCHサポートセンターとキャリアセンターの役割や学生の活用状況について紹介する。	(予) 学内のセンターを予習する (復) アンケートの提出
10	大学における図書館の意義と役割	図書館の業務の紹介をするとともに図書館長が読書の重要性について講話する。	(予) 図書館の意味を調べておく (復) アンケートの提出
11	ホスピタリティ・ルーブリックの理解と自己認識	ホスピタリティ・ルーブリックに基づき、「ホスピタリティを構成する5つの能力」について理解し、自己の現状認識をした上で行動目標を設定する。	(予) ポートフォリオにあるホスピタリティ・ルーブリックを調べておく (復) アンケートの提出
12		学科別の課題とホスピタリティ①	
13		学科別の課題とホスピタリティ②	
14		学科別の課題とホスピタリティ③	
15		学科別のまとめ及びレポート提出	

国際観光学科

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
12	国際観光学科に求められるホスピタリティ	国際観光学科での学びにおけるホスピタリティの重要性を理解し、特に本学科の学生に求められる多様性理解力について考察する。	(予) 観光の必要性を考えたおく。 (復) アンケートの提出
13	長崎国際大学での学びと社会	社会で活躍する国際観光学科の卒業生を招き、大学の学びと仕事の結びつきを共に考える。	(予) 大学生活におけるホスピタリティの意義をまとめたおく。 (復) アンケートの提出
14	長崎国際大学での学びと社会	社会で活躍する国際観光学科の卒業生を招き、大学の学びと仕事の結びつきを共に考える。	(予) 大学生活におけるホスピタリティの意義をまとめたおく。 (復) アンケートの提出
15	「ホスピタリティ概論」を受講して	「ホスピタリティ概論」での成長を診断するとともに、授業の改善点を検討し、まとめる。	(予) 授業を振り返る。 (復) アンケートの提出

社会福祉学科

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
12	社会福祉学科のホスピタリティ	社会福祉の歴史を概観しながら、対人援助及び地域援助に求められる多様性の尊重等の諸原理とホスピタリティとの関係性について学ぶ。(学部長・学科長)	(予) 学部長・学科長に質問したいことを列挙する。 (復) アンケートの提出。
13	福祉の仕事におけるホスピタリティ①	現場で活躍するソーシャルワーカーの実践事例を踏まえたホスピタリティの考察から、その必要性について理解を深める。(ソーシャルワーカー)	(予) SWに質問したいことを列挙する。 (復) アンケートの提出。
14	福祉の仕事におけるホスピタリティ②	社会福祉学科卒業生が本学と現場で学んだホスピタリティや専門知識等を社会福祉実践にどう結び付けているかを知り、学修する意味を理解する。(卒業生)	(予) 卒業生に質問したいことを列挙する。 (復) アンケートの提出。
15	「ホスピタリティ」論述	ホスピタリティの意味についてどのように理解し、今後どのように実践的に体現していきたいかを論述する。	(予) 第 15 回授業内容に対する自分自身の考えをまとめる。

健康栄養学科

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
12	健康栄養学科に求められるホスピタリティ	「食と医学を基本とした栄養学」を修得し、広く社会に貢献していくために、健康栄養学科での学びにおけるホスピタリティの重要性を理解する。	これまでの授業内容をまとめておく。
13	ホスピタリティと仕事 1	医療分野や高齢者福祉施設・保育所・委託給食会社など現場で活躍する管理栄養士の業務に関して、実践事例を踏まえ、ホスピタリティの必要性を理解する。	管理栄養士の業務・チーム医療について調べておく。
14	ホスピタリティと仕事 2	現場で活躍する健康栄養学科卒業生を招き、大学での学びを現場でどのように結びつけているか、またホスピタリティの必要性について理解を深める。	管理栄養士の業務・チーム医療について調べておく。
15	「ホスピタリティ概論」を受講して	「ホスピタリティ概論」での成長を診断するとともに、授業の改善点を検討し、まとめる。	(予) 授業ノートをまとめておく。 (復) 授業の改善点の完成

薬学科

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
12	薬学科に求められるホスピタリティ	薬学部学生が卒業時に必要とされる資質、すなわち薬剤師としての基本的資質が 10 項目挙げられている。それらの資質の修得は、患者・生活者本位の視点を醸成する基盤として位置付けられる。本講義は、患者に寄り添う薬剤師としてのホスピタリティについて考えることを狙いとする。	薬剤師としての基本的資質である 10 項目の内容について調べておく。
13	仕事とホスピタリティ 1	仕事に必要なホスピタリティを本学 OB (病院・薬局、行政等)、外部講師から講演・談話形式で学ぶ	病院・薬局での薬剤師の仕事について調べておく。
14	仕事とホスピタリティ 2	仕事に必要なホスピタリティを本学 OB (病院・薬局、行政等)、外部講師から講演・談話形式で学ぶ	病院・薬局での薬剤師の仕事について調べておく。
15	「ホスピタリティ概論」を受講して	「ホスピタリティ概論」での成長を診断するとともに、授業の改善点を検討し、まとめる。	(予) 授業ノートをまとめておく。 (復) 授業の改善点の完成